

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約	会場
大項目	中項目/分野	項目				
V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 市民の自発的・主体的な行動を促す支援	桜堤児童館	長期計画では0123施設に転用すると記載されたが、児童館をなくしてほしくない。市の子育て支援は、どう育てたいかという柱がなく、子どもの居場所を輪切りにしているが、児童館は全ての子どもが自由に来られる場所である。策定委員会で児童館の必要性を議論をしていただきたい。 行政は市民とも議員とも話が進んでいると言っているが、実際には議論されていない。	児童館は、桜堤に1館だけという条例、歴史とその後の経緯も含め、市民との合意形成がなされた上で今日を迎えていると考える。今、それがなくなるという段階で議論が喚起され、策定委員会に突発的な形で出てきたため、議論を詰める状況になく討議要綱にも載せていない。大事な議論もされていると聞いている。 児童館をなくさないでほしいという声は策定委員会でも承知している。市としては、今できていないことを、よりきちんとやっていくための「転用」の取組みを進めている。討議要綱に載せることで、これまで長期計画に沿ってやってきたことを止めることのないよう、反対の動きや意見を気にかけて、調整計画としてどういう書き方ができるか、考えたい。	吉祥寺地区
				桜堤児童館の件を策定委員会で話し合っていたらとこののだが、どういう流れでやるのか。作成中の第四次子どもプランで出ている廃止のような方向性はどうか。	この策定委員会と第四次子どもプランの委員会とで話し合う場ができるかどうかは分からないが、行政側で事務的につなぎをとり、調整計画で検討し、記述に矛盾のないようにしていきたい。	武蔵境地区
				桜堤の児童館は存続をさせてほしい。第三次子どもプランに出ている0123化という方向は撤回し、第四次プランでは児童館を残すとはっきり言っていたきたい。	児童館は残す残さないという意見が多いが、児童館の機能がそれだけすばらしいのであれば、機能的に展開するべきだと考えている。	武蔵境地区
				児童館は、小規模保育室の日常の保育環境を補う施設でもある。他の地域にも児童館を増やしていただきたい。	小規模保育の遊び場ということは明記していないが、広場・遊べるスペースとして確保していくべきだという考え方は「転用」の中に入っている。市が方針として打ち出している「転用」のあり方について、策定委員会として議論をしていく。	武蔵境地区
				児童館ワークショップで廃止という話が出た。経緯がわからないので教えていただきたい。		武蔵境地区
				児童館について今後話し合うならば、わかりやすく書いてほしい。 桜堤児童館は残し、拠点としてあそべえや0123、コミセンでの問題を吸い上げて、専門家とともに児童館のノウハウを考えたり、それを各施設にフィードバックできるようにしたいのではないかと。 市は、子どもを年齢で輪切りにしている。ここにぜひ児童館という縦軸を入れ、連続的なケアができるようにしてほしい。		武蔵境地区
				今、桜野小は満杯であそべえも満杯だ。あそべえで遊べなかった子の受け皿としても児童館は大切だ。	桜野小の子どもの遊び場の1つとして児童館の施設は対応していくべきだがということが、市の考える児童館の「転用」の中に入っている。	武蔵境地区
				児童館の民営化について情報が利用者に行きわたっていない。策定委員会で議論することになったので、意見聴取の仕方として、バブコメだけではなく利用者のアンケートをやるべき。また、児童館がなくなるとおそらく地域クラブもなくなる。児童館そのものだけではなく、そこで行われているサークル活動の意義もよく考えてほしい。	児童館については、策定委員会で今度の検討課題にのせていく。 アンケートについてはご意見として伺う。 児童館がもし民営化するとしても、地域の活動がなくなることにはならないのではないかと。むしろ地域の方で支えていく施設にできないかというのが現在の方向である。	関係団体